

【大島町教育委員会】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本町の情報教育は ICT 機器を通して情報を適切かつ主体的、積極的に活用する能力及び、インターネット・携帯ネットを適正に利用する能力と態度を養うことを目的としている。学習活動の中にプログラミング学習を取り入れ、論理的思考力を養い自らの人生を切り拓いていくための資質・能力を身に着けることを目標とする。

本町では子供たちが能動的（アクティブ）に学び続けるアクティブラーニングの視点から、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視した授業改善を行っている。1人1台端末を活用することで子供たちの課題解決能力や非認知能力を育成し、変化を前向きに受け止め、社会や人生を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにしていく子供の育成を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期ではタブレットを活用した授業形態が浸透してきた。子どもたちがタブレットをツールの1つとして活用し、学習者主体での学習活動を進めることができた。その中で回線の不安定さ、遅さなどの課題が浮き彫りとなった。令和6年度にネットワークアセスメント事業を行い、ネットワーク機器の交換等の回線速度の改善策を実施し、令和7年度以降回線速度の実態を踏まえ、より効果的な改善策を順次実施する予定である。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和7年度導入する1人1台端末では、前回よりストレージおよびメモリの能力が向上したため、授業においても以下の場面で積極的に活用する予定である。

- ① デジタル教科書を活用した授業展開
- ② 学習ツールを活用した授業及び、児童・生徒間や子供・先生間の交流・学習成果の発表
- ③ 学習ドリルを活用した授業実践・学習及び復習
- ④ 多様なルーツを持つ児童・生徒に対して、翻訳等の学習補助ツールとしての活用
- ⑤ 不登校など事情により登校が難しい子供たちの学習機会の確保、学校との教育相談

上記以外においても、授業や放課後学習、長期休業日等に必要に応じた ICT 機器活用が想定される。

本町では令和7年度以降も予備機を活用し、児童・生徒1人1台端末の状況を維持し「学びを止めない」環境作りの維持・発展を継続的に行っていく。端末整備と通信環境の改善を並行して実施し、ICT機器の活用がスムーズにできるよう環境を整えることで、学校での週3回以上の ICT を活用した授業実践の達成を目指す。